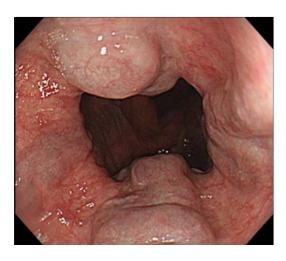
③ 食道・胃静脈瘤

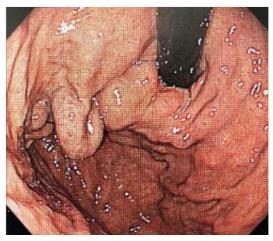
門脈は消化管を循環して多くの栄養を含んだ血液が集まって肝臓に注ぐ大きな血管です。肝硬変によって肝臓が硬くなると、この門脈の流れが悪くなるため門脈内の血圧(門脈圧)が上昇します。この門脈圧が亢進すると本来血液の流れが多くない血管に血液が流入してバイパスを作ってしまうため、食道や胃に静脈瘤ができてしまいます。静脈瘤は出血の危険があるため治療が必要になります。

食道胃静脈瘤

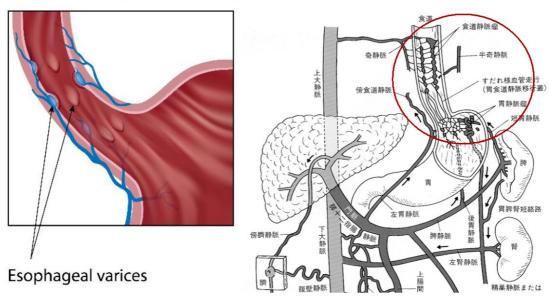
食道胃静脈瘤



孤立性胃静脈瘤



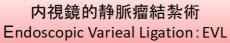
食道・胃静脈瘤 門脈系の構造と側副血行路

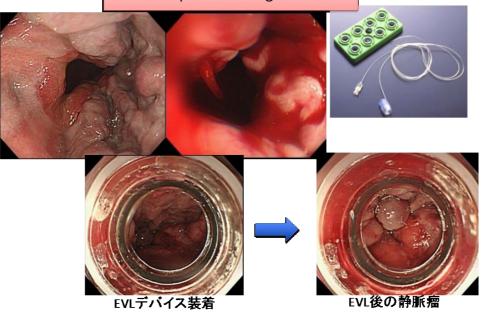


豊永純ほか:食道胃静脈瘤の発生機序。日本メ ディカルセンター,1966より抜粋一部改変

【食道静脈瘤に対する治療】

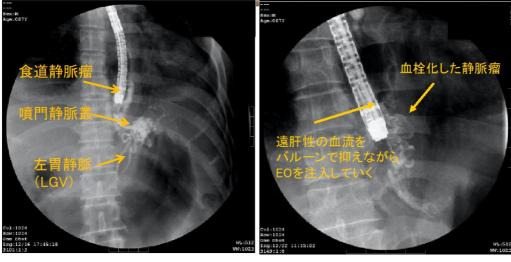
食道静脈瘤結紮術(EVL)食道静脈瘤硬化療法(EIS)などの内視鏡治療を行っています。一般的に緊急の出血に対しては EVL を、待機的な出血予防目的に EIS を行っています。胃静脈瘤に対しては血行動態を判断し放射線科医と相談 し、バルーン閉塞下逆行性経静脈塞栓術(B-RTO)を行うこともできます。



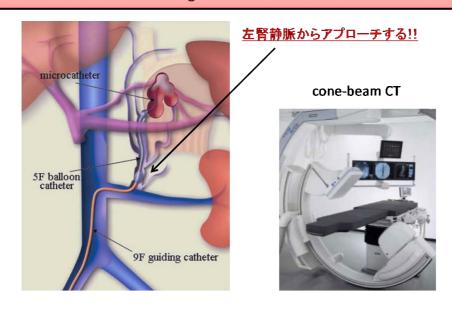


内視鏡的静脈瘤硬化療法 Endoscopic Injection Sclerotheraphy:EIS

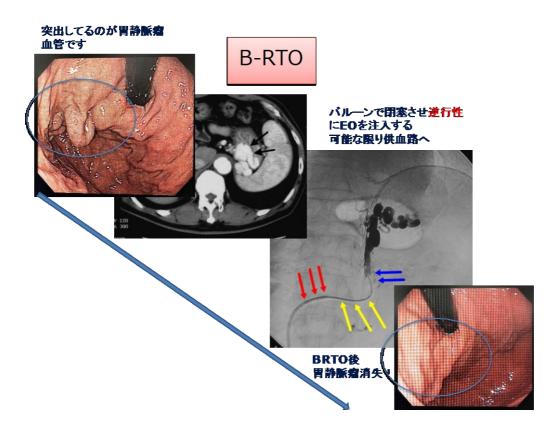




バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術 Balloom occuluded retrograde transvenous obliteration:B-RTO



Tanoue S et al. Cardiovasc Intervent Radiol 29: 991-996, 2006



また、間接的な治療ですが、脾臓が大きくなる脾腫も門脈血流の増加に関係があり、門脈血流を下げるため脾臓の容積を減らす部分的脾動脈塞栓術(PSE)や脾臓摘出術を外科に依頼することもあります。